



● 大谷石 東西南北 ● 東京駅待合室の落ち着きを演出

NPO法人 大谷石研究会 広報担当 平沼 隆志

この大谷石を、どれほど多くの人々が日々、目にしていることだろう。ここはJR東京駅新幹線改札内の待合室。全国各地に向かう人々でいつも混雑している。喫茶の壁に使われた大谷石が、椅子に座れば自然と目に入る。列車や連れを待つ人々の気分は十人十色。つまり、この部屋には喜び、憂うつ、悲しみ、いら立ち、怒りなど種々雑多な感情が持ち込まれる。雑然とした雰囲気になりかねない。落ち着いた雰囲気の演出で大谷石が一役買っている気がする。商品や注文方法の掲示で隠さないでほしいものだ。



写真集「大谷石 未来へ」

NPO法人 大谷石研究会
2,500円(税込) 113頁

販売書店

【東京都】丸善丸の内本店
日本建築学会 建築書店
南洋堂書店
【栃木県】落合書店(宝木店・イトーヨーカドー店・トナリ工店・東武店) うさぎや(作新学院前店・宇都宮駅東口店・宇都宮テクノ店・東築瀬店・戸祭店・矢板店・自治医大店・栃木城内店・益子店)
ビッグワン(若草本店・400号西那須野店・黒磯店) 森百貨店
栃木県立博物館 宇都宮美術館

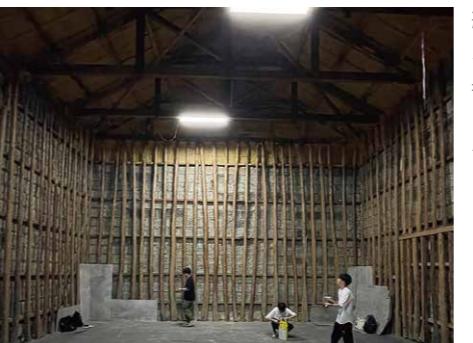


大網石(桜石)造の下小池倉庫外観

宇都宮市近郊には、昭和初期以降に建築された農協(JA)が保有・管理する石造の農業倉庫(石蔵)が各所に残り、地域の資源と産業人々の関わりやその痕跡を留める文化的景観を形成しています。かつてこれらが重要な基盤でしたが、農業の近代化が進むにつれてその役割が薄れていきました。さらに近年は老朽化が進み、やむ無く取り壊される事例も少なくありません。

JAうつのみや管内石蔵研究会と宇都宮大学遠藤研究室では、この貴重な空間資源の現状を把握し基礎的な情報を整理するために、3月11日(月)と8月7日(水)の2日間、JAうつのみやの協力の下で調査を行いました。1日目は所

18棟の石蔵が確認されました。それらは、下小池(大網石)、駒生(大谷石)といった一部の戦前のものを除き、



駒生倉庫の内部実測

JA城山支所併設の駒生倉庫は、2棟の大谷石積石造・控え壁付の石蔵(1棟は昭和21年建築)が、日光街道の桜並木に面する金井倉庫は、2棟の大谷石積石+RC臥梁造。昭和37年、大谷石積石+RCラーメン造(昭和43年)が現存、建築年代による構法の展開を見ることができます。地域工法により造られ、地域の農業経済を支え、農業に従事する人々を中心とする地域拠点としての記憶を次の世代に引き継ぐための方法を検討するために、引き続き調査を継続して参ります。



2棟の石蔵が雁行配置された金井倉庫

■ 栃木県立博物館友の会2024年度講演会 〈予定表〉

| 会期 | 講師 | 内容 |
|------------------------|--|--------------------------------------|
| 1回 10/26(土) 終了 | 宇都宮大学地域デザイン科学部助教 大嶽陽徳 | 「建築家更田時蔵の仕事 旧大谷公会堂・旧大内村役場・T代議士邸について」 |
| 2回 11/23(土) 終了 | 株式会社 アトリエ慶野正司 慶野正司 | 「石蔵のリノベーション吉田村ビレッジ物語」 |
| 3回 12/22(日) 13時30分~ | 千葉大学工学研究院教授 安森亮雄 | 「日本と世界の石のまちと建築」 |
| 4回 1/18(土) 10時~ | 小山工業高等専門学校建築家助教 小林基澄 | 「岩船石の建造物について」 |
| 5回 2/9(日) 13時30分~ | 宇都宮大学地域デザイン科学部講師 遠藤康一 藤原郁三 陶芸作家 | 「ワグナー・ナンドールの建築と作品について」 |

会員通信

すげーぞ! 大谷

ふるさと学習 ～宇都宮市立城山中学校の巻～

「石のまち」大谷の地元、宇都宮市立城山中学校では、「ふるさと学習」として地域探索学習を行っています。ふるさと大谷の歴史と文化を再認識するとともに、魅力ある街づくりに向けて問題点について考え、自分の生き方につなげていこうとする活動です。今年度は、9月3日・4日の2日間全学年一斉に実験を行いました。各班現地調査から始まり、最後にはまとめの発表まで、生徒たちの主体的な活動が展開されました。各班の探索ポイントは、下の一覧表の通りです。この活動の詳しい活動の様子(含写真)は、同校のホームページをご覧ください。

その他の同校では、「あつたか活動」と呼ばれる地域の清掃活動が開催されました。生徒たちが新規の活動が開催されました。各班の探索ポイントは、下の一覧表の通りです。この活動の詳しい活動の様子(含写真)は、同校のホームページをご覧ください。

施設の担当者から説明を聞く
(「ふるさと学習」中の城山中学校の生徒たち)
写真提供:宇都宮市立城山中学校

◆「ふるさと学習」各学年のテーマと各班の探索ポイント◆

| | |
|-----|--|
| 1学年 | 城山地区の歴史を学ぼう 大谷寺・平和観音16、大谷資料館24、多気山22、森林公園18、古賀志山22 |
| 2学年 | 城山地区の魅力的な産業について学ぼう 駒場牧場19、OHYA BASE19、阿部梨園18、日光ゆば製造18、小野口ファーム19 |
| 3学年 | 城山地区の魅力を発信しよう 大谷寺・平和観音20、大谷資料館19、大谷石産業23、多気不動尊20、ジャパンカップ17 |

動・ボランティア活動や、大谷石の加工体験学習などを取り入れ、郷土意識を高める工夫をしています。

す。

中学校の取材に丁寧に応

えていた南木睦先生、ご

協力ありがとうございました。